



産業科学研究所 定例記者会見 (第 12 回)

6 月 17 日(火) 大阪大学中之島センター(2F 講義室 201)にて実施

❖ 概要および発表内容

大阪大学産業科学研究所(産研)では、毎月の定例記者会見を実施しております。産研は、今年で 75 周年を迎える歴史ある研究所であり、文字通り「産業に生かす科学」を目的とし、「材料」、「情報」、「生体」および「ナノテクノロジー」の分野で基礎から応用に至る広い分野で研究・教育を推進しています。記者会見では、最新の研究動向、成果、今後の発展等について、わかりやすい情報を発信します。第 12 回の定例会見を、以下のとおり実施しますので、ご参加ください。

【開催日時】 6 月 17 日(火)13 時 30 分から

【開催場所】 大阪大学中之島センター2F 講義室 201



川上 茂樹

かわかみ しげき

産業科学研究所
知的財産研究分野
特任准教授

【発表1】切り花の延命技術の開発 —1 年保つ切り花を目指して—

植物は、切り花にすると劣化が早まり、水に浸けたとしても通常短期間で枯れてしまいます。今回、**植物の持ち向上を目的として、ガンマ線照射法の研究を行い、条件を整えることによって長期の保存が可能であることを見出しました。**通常、コバルト 60 を用いたガンマ線照射処理は植物の老化を促進させますが、今回開発した 0~4℃低温下低線量のガンマ線照射処理は植物の、老化促進を抑制することが分かりました。例えば、**トルコキキョウは通常花持ちは 10 日程度**

であるのに対し、低線量放射線処理により 4 倍の 40 日以上の長持ち効果を向上させました。これらの効果は、処理による滅菌作用によるものではなく、老化を促進するエチレンの発生抑制作用によるものと考えられ、放射線照射処理時に低温条件にすることにより植物組織に負荷をかけずに切り花の保存効果を向上させることができることを明らかにしました。



【発表2】小学生対象 夏休み「ものづくり教室」

産研ものづくり教室 2014 スペシャル

産研技術室では地域貢献の一環として「ものづくり教室」を開催しています。本開催で9回目を迎え、「産研ものづくり教室 2014 スペシャル」として企画しています。開催日は本年 8 月 5 日(火)から 7 日(木)までの 3 日間です。小学生 4 年から 6 年生を対象に産研 75 周年ロゴと参加者オリジナルのデザインで「空き缶を溶かしてメダルづくり」、身近にある薄片を見て、写して拡大する「ペットボトルで顕微鏡づくり」、硬いガラスが炎の中ではこんな形に変わる「ガラス細工で浮沈子づくり」の体験と、そして自作品全てが持ち帰れる夢のような「ものづくり教室スペシャル」となっています。

<産研技術室>

昭和 14 年に創立した産業科学研究所には、早い時期より「専任技術者」が、工作分野、分析分野にて研究支援を行ってきました。その後、教員組織、事務組織とは独立した技術組織として昭和 57 年に全国で初めて「技術室」が設置され、技術室長を技術職員から選任し、産研創立 75 年の半分近くわたり研究・教育への技術支援を担い、国立大学法人化を機に「安全衛生」と「地域貢献」も技術室業務の柱としてきました。



田中 高紀

たなか たかのり

産業科学研究所
技術室
室長